

3類型	農林水産物、 鉱工業品及びその生産技術	通巻番号	8-19-010
地域資源名	いちご、トマト、ブルーベリー、清酒	認定日	平成19年10月12日
地域	熊本県山都町	所管省庁	財務省、農林水産省、経済産業省

事業名:ブルーベリー、トマト、イチゴ等地域の野菜果物を使った日本酒ベース リキュールの開発・販路拡大

会社名:通潤酒造株式会社

所在地:熊本県上益城郡大和町浜町54

連絡先:TEL:0967-72-1177

H P: <http://www.tuzyun.co.jp/>

FAX:0967-72-0421

事業概要(新たな活用の視点)

・産地・地域の現状と課題 ・事業着手の経緯

日本酒は、焼酎の台頭に押され近年減少傾向が続いているが、リキュールは拡大傾向が続いている。(平成17年/平成14年比
リキュール 570, 892klから743, 024klへ30%の伸び、日本酒 897,
537klから729, 686klへ19%のダウン 国税庁統計情報より)

・地域資源の強みと新たな活用視点の導入

日本酒をベースとしたリキュールで、地元産の果物を丸ごと漬け込む製法は果汁だけを使う従来の商品と違い独自性がある。

・その他

販売価格を抑えるため、地元農家・農協との連携をしながら規格外品の野菜果物を確保し、商品を開発する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

・新商品、新サービスのコンセプト

地元の日本酒(原材料を地元から調達)に地元の野菜果物を丸ごと漬け込んだリキュールであること。

・競合製品との優位性

地元の野菜果物を丸のまま使い、新鮮で安全、野菜果物本来の旨みのしっかり詰まったリキュールの開発を行う。

◆市場性

健康志向と相まって、健康志向レストランや大都市マーケットなどには受け入れられると考えられる。

◆販路

リキュールは、新しい販売網も必要になるため、直接ホテル・旅館への販売や消費者への直販ルートなど、展示会やDM、ネット宣伝などを使って、地元や県内、全国と徐々に販売先を広げていく。

地域資源における関係事業者との連携

いちごやトマトを作っている契約農家・農協との連携を行う。



ブルーベリー
リキュール



いちご



トマト